湯梨浜
ゆりはま

議会だより

第３号
平成17年5月1日発行

ヤギと仲良し
（羽合放課後児童クラブ）

持ち上げるヨ　せーの
（泊放課後児童クラブ）

目　次

一般質問 …… 2～8P
議案審議Q&A …… 8～9P
委員会審議 …… 10P
陳情審査 …… 11P
私の抱負 …… 12～14P

・・子どもたちに、新しい学年が始まりました・・・
・・限りない可能性を秘め、湯梨浜町の未来を・・・
・・託す子どもたちです・・・・・・・・・・・・・
・・第１回の議会議員選挙で、新しく18人の・・・・
・・議員が決定し、総合計画の策定など、湯梨浜町・
・・の町づくりを進める船出となりました・・・・・
・・ご支援、ご協力をお願いいたします・・・・・・

発行／鳥取県東伯郡湯梨浜町議会　〒682-0723 鳥取県東伯郡湯梨浜町大字久留19番地1　TEL 0858-35-5341

一般質問

湯梨浜町教育に対する意気込みは

上野昭二議員

質問　本年度は東郷小学校、翌年度には羽合小学校が誕生します。湯梨浜学園の開校もきまり、湯梨浜町では、公立学校と私立学校による共存と切磋琢磨が始まります。

町長の施政方針の柱に、福祉と双璧に教育が掲げられています。教育は湯梨浜町を担う人材づくりとして、最重要な部門であり、教育の町湯梨浜町の基礎づくり、教育環境の整備が必要であるが、町長の意気込みを伺います。

教育委員会は、学校寄り、学校は閉鎖的と言われているが、町民のための教育委員会として、今後の取り組みを伺います。

答弁（町長）

新町の緊急かつ大きな課題として、教育の改革があります。

ハード面では、東郷小学校、羽合小学校の建設、ソフト面では子育てと、生活環境の支えが必要であり、保護者、地域、学校が一つになり、町は教育委員会と共に取り組みます。

答弁（教育委員長）

学校などが閉鎖的であれば、早急に改善します。

教育委員会は、多様な職種や経験者の意見を取り入れて議論していきます。

地域運営学校制度の早期導入は

質問　教育改革が叫ばれ十数年が経過しました、その中で、教育の自立に弊害な部分の排除が提案され、小・中学校における地域、家庭、学校の連携が叫ばれ、国が進めるコミュニティースクール構想に、地域運営学校制度があります。

古い学校体制の殻から脱皮し、良好な教育環境づくりが求められているが、教育委員会の認識と取り組みを伺います。

答弁（教育委員長）

児童、生徒、保護者が学校の取り組みに意見を提言し、評価できる制度であります。

現在、羽合では学校評議員制度、東郷では推進協議会があり、共に地域に開かれた学校を進めているが、さらに検討します。

答弁（教育長）

学校評議員制度に検討を加え、東郷地域でも制度を導入していきます。

学校独自の運営は、全国的に地域運営制度であり、今後制度について勉強をします。

小中学校のいじめ　不登校の実態は

質問　小学校、中学校におけるいじめ・不登校の現状把握と認識を伺います。

答弁（教育長）

毎月学校からは、いじめ・不登校の報告を受けており、いじめはないが、不登校は、二月末現在で中学校に十七名あります。

スクールカウンセラー、心の相談員を始めとし、関係職員が対応し、就学前についても、校長会、園長会で現状を把握しています。

本人、家族が苦しんでおられる状況に、教育委員会として、悩みを解決する相談会や家庭訪問を検討してまいります。

建設中の羽合小学校

自然環境整備は急務でないか

本庄公男議員

質問　町域の過去数十年を振り返り、自然環境の著しい変容を、どのように観察・評価し、善・悪共に及ぼした影響をどう捉えているか伺います。

近代工事により、集中水水害を始め、浸透水の不足と揚湯・水による地盤沈下、水質悪化により生物への悪影響を与えている生活環境が当面かかえる課題はなにか、また、河川の水質改善と間伐材などによる魚礁の造成、町域の環境保全には保水力を高め、既設構築施設の改築など、自然環境と共存する農林業の構築は図れないか伺います。

答弁（町長）

事業は、旧町村の総合計画、町づくり計画に沿って、その時代の要請により最善のものとして実施されており評価できます。

工事も、その時代で一番よい工法として、コンクリートなどを使用し農家の負担軽減、農業の促進とその時代はそれがよいとされました。

ヘドロのしゅんせつと、池の水質との因果関係があるかは、衛生環境研究所で調査し、平成十八年度から浄化に着手されますが、内水面漁協、ボランティアも一体となり水質の浄化を図ります。

森林が環境を良くすることでもあり、人工林の施行に力を入れ、自然林と共存し保水力、地力の向上に取り組みます。

梨水湖（東郷ダム）

小学校の通学バスの扱いは

尾坂尚彦議員

質問　遠距離通学児童のスクールバスは業者委託か、町営のバスか、或いは、北溟中学校のバス利用も考えられるが運行計画を伺います。

現在東郷地区の福永、漆原、北福は路線バスを利用し保護者が負担、羽合地区の宇野は一年から三年は公費などである、スクールバスを利用すれば全額公費となるが、路線バスの利用に対する保護者負担の扱いはどう考えておられるか、また、小学校の統合により、徒歩通学とバス利用が計画されているが、東郷小学校と羽合小学校で基準が違うがどのようにされるか伺います。

答弁（町長）

東郷小学校の開校に間に合わせるため、通学バスの業者を決定しました。

保護者の負担については、東郷小学校がスクールバスとなり、全額町の負担となるため、平成十七年度からは、全てを公費負担とします。

徒歩通学の基準は、子どもの体力のこともあり徒歩が望ましいが、東郷小学校においては、二キロから三キロは徒歩通学を基本に、学校、ＰＴＡ、区長と協議してきました。

羽合小学校は、東郷小学校を参考に検討します。

公民館の組織運営は

質問　合併し中央公民館、羽合分館、泊分館となったが、地区公民館の連携はどのようにしていくか。

また、自治会の地域活性化交付金は地区公民館単位の事業が対象となるのか、さらには、分譲地が増加しつつあり、集会所、自治公民館の建設に迫られる場合がある、補助は地区公民館のみが対象となるか伺います。

答弁（町長）

地域づくりに公民館の役割は重要であり、長年の成果により特徴ある運営をされています。町は、地区公民館主事と連携し事業を実施しており、地域性を考慮して、相違事項については、三年位で調整します。

地域活性化交付金は、集落、地域の活性化、均衡ある集落づくりに、総事業費の二分の一、十万円を限度に交付します。

公民館の整備には、新しく補助規定を作りましたので、分譲地等については、要綱に照らし検討します。

スクールバス（東郷小学校）

行財政改革の取り組みは

浜辺　力議員

質問　合併の本旨は行財政改革であったはずです、町民と行政の相互が納得し、合意の上で行財政改革、行政のスリム化をすることこそ改革の第一歩であり、具体的にどのように行財政改革に取り組むか伺います。

町民にとって新町の組織機構は、課が多く設置され、業務が分散し細分化されたことにより、不便さや不都合ばかり目立つ、行政システムの改善は、実施されるのか伺います。

答弁（町長）

合併は、広域化に対応し職員が専門化して行財政に対応していく手段であり、職員の意識改革が必要であります。町民との合意形成、町民の参画、情報の開示を一層進めます。

現在、行財政改革推進委員会で検討中であるが、最小の経費で最大の効果を上げるため、合併直下で困難もあるが、出来るところからスリム化をしていきます。

コミュニティバス路線決定経緯は

質問　合併の目玉的な事業として、町民の利便性を図るコミュニティバスが運行されたが、路線決定の経緯と今後改善をされるか伺います。

答弁（町長）

住民の利便性、福祉、観光を目的に、低料金で旧三町村を巡回するバスとして、検討委員会で検討してきました。

今後の運行変更は、意見を聴きながら検討します。

分譲宅地造成事業に絡む道路改良の展望は

質問　泊地区の分譲宅地造成事業に絡む道路改良事業について、現状をどこまで把握されているか、さらには、十二月議会での答弁以降に、これまでの動きと今後の展望を伺います。

答弁（町長）

平成十四年度泊村での買収事務で、一部不適切があり、地権者の理解を得なければ事業に着手できない状況である。

一月に一度面談したが、機会をとらえ理解をいただくよう取り組みます。

町民課、地域振興課の窓口（羽合庁舎）

教育の現状をどう捉えているか

浜中武仁議員

質問　教育行政にも地方分権、合併により、義務教育改革などの影響があります。文部科学省や県の関与により、独自の教育施策に不自由さもあるが、湯梨浜町の教育をどう捉えているか。

また、大阪府において、卒業生が学校を襲う事件があったが、学校の安全管理について伺います。

答弁（教育長）

正月のはしらん会には、保育園児からＰＴＡの方が多数参加され、芸能大会においても、湯梨浜町の文化活動に町民が熱心に取り組んでおられた。

学校も地域と密着し、開かれた学校として、個性豊かでやさしくたくましい児童生徒を育てていきたい。

学校は、来客者の確認と、不審者に対処する器具を準備し、児童生徒は、不審者対策の避難訓練を実施しています。

教育委員会の活性化、機能強化は

質問　教育委員会には、予算の編成権、教職員の人事権がないなど問題点があるが、教育委員会の機能強化をどう考えておられるか伺います。

答弁（町長）

教育委員会は、幅広い分野を持つ重要な機関であり、個性ある発想で、課題・提言をいただき、改革として、教育委員会の独立性にも期待をしています。

答弁（教育長）

現行制度には問題点もあるが、教育委員会を月一回の定例会と随時臨時会を開催し、当面は学校教育を最優先に考え、児童生徒の立場で議論をしていきます。

英語教室（羽合幼稚園）

使える英語をめざす施策は

質問　総合学習の一環として、英会話の授業を実施している学校が増加しているが、町内の現況はどのようになっているか。小学校から英語に慣れ親しみながら能力を伸ばし、将来国際舞台で活躍する人材を、育成する施策は考えておられるか伺います。

答弁（教育長）

各学校の実態に応じ、小学校でも年間八十二時間、週二回程度、英語指導助手、国際交流員、地域の指導者に、ゲーム、歌など年齢にあった方法で、国際化に触れる体験的な学習を取り入れています。

英語に慣れ親しむため、今後益々充実させていきます。

次世代育成支援行動計画作成状況は

質問　平成十五年七月に、十年間の時限立法として、次世代育成支援対策法が成立しました。

少子化対策として、子どもを産み育てる社会環境をつくるため、自治体が住民参画で、行動計画を策定し、実施するものであります。

本町の取り組み、進捗状況を伺います。

答弁（町長）

少子化の流れを変えるための行動計画であり、安心と喜びをもって、子育てを社会全体で支えるものであります。

平成十六年に、住民、医師、栄養士などにより、意見をいただき素案は既にできておりますので、三月中には策定します。

ＪＲ高速化に伴う災害予防を

浦川幸一議員

質問　泊地区には、ＪＲの線路敷きに三ヶ所の隧道及び河川があります。

過去にも隧道の修理を行っているが、年月の経過と高速化により痛みが目立ち、崩落の危険と、大雨が降ると堰になり県道、住宅が水没する現状であり改修が必要であります。

また、ＪＲの高速化に伴い振動及び騒音が強くなり、トンネル付近の住宅は困っておられます。

これは、人災と思われるが、早急に対処するように、町がＪＲに申し入れをしていただきたい。

答弁（町長）

鉄道と国道が横断しており、ＪＲ、国土交通省でそれぞれ管理し、河川は、県と湯梨浜町で管理しています。

隧道部分が劣化し、台風などで被害も出ており、ＪＲも状況を調査しておられるが、改修に向け協議していきます。

トンネル付近の振動については、旧町村でも要望してきたが、解決に至っておらず、ＪＲも総合研究所で解明されるが、町としても強く働きかけます。

スーパーはくと（原地内）

行政改革、評価システムの導入を

秋田和幸議員

質問　行政改革に対する町長の基本方針を伺います。

答弁（町長）
湯梨浜町のサービスを、最小の経費で最大の効果として提供するため、職員自らが民間の意識で取り組み、出来るものから実施していきます。

行政評価並びに税財源の在り方は

質問　町民の視点で、行政の無駄を省くことなどを、部外に依頼する行政評価システムがあるが取り入れないのか。また、地方交付税の改革、権限移譲など地方分権時代に改革の意識、コスト意識、事業の優先順位など効率の良い行政サービスについて、どのように受け止めておられるか伺います。

答弁（町長）
政策、財源の有効利用について、質の高い行政を進める判定として、評価システムがあり、県や鳥取市などで取り入れておられます。評価制度は必要であるが、ISOや行政改革委員会で議論していきたい。

ふれあい移動町長室(東郷庁舎)

財政については、三位一体の改革が完全に実施され、財政運営は厳しくなるので、機構改革、指定管理者制度導入も検討していきたい。

勤務評価システムの導入は

質問　給与諸手当の在り方として、情勢適応の原則があり、随時見直しをしながら適正な措置を講じるため、毎年民間の実態調査もされているが、職員の評価システム導入は考えておられないか伺います。

答弁（町長）
町村での、民間調査は実施が困難であり、県の人事委員会を見習っている。評価システムについては、職員組合とも話をしています。

コミュニティバス運行の見直しを

竹中壽健議員

質問　合併の目玉として、住民の利便性と低料金でのバスを導入されたが、合併前の説明では、町内を循環するので、病院や買い物に利用できると説明され、高齢者の方も喜んでおられました。しかし、乗り換え、接続に問題があり不満の声があります。

また、乗り換え毎に料金を支払うことになるが、負担を考え一日乗車券を発行する考えはないか伺います。

答弁（町長）
全町を回ると二時間以上になり、運転手の負担などを考慮し現在の運行となりました。現在は試行であるが、これで十分とは考えていないので、意見を聴きながら改善すべき所は検討します。

ケーブルテレビの普及促進を

質問　情報社会の中で、町の行事等の情報共有は重要であり、その手段としてケーブルテレビがあります。普及率も町全体で八十五・九％となっているが、羽合地域の雇用促進住宅、母来寮、或いは新築住宅で未加入がある。未加入の理由として工事費が高いなども原因であるが、雇用促進住宅には、何らかの規制をしておられるか伺います。

答弁（町長）
雇用促進住宅には現在七十五世帯が入居されています。

住宅を管理をしている雇用促進協会は、加入金、工事費の負担は対応しないと言われているが、町として協会とも協議をしてみたい。

町は一人でも一戸でも多くの設置に向けて、積極的に取り組んでいきます。

ケーブルテレビの収録

安心して暮らす町づくりを

酒井幸雄議員

答弁（町長）

東郷はル・サンテリオンに、羽合は信生苑に委託しています。

平成十七年度は現状とするが、平成十八年度からは、泊地域に基幹型の施設もあり、できる方法で取り組みます。

質問　介護支援センター業務を、羽合地域、東郷地域では民間業者に委託されておられ、本来の機能、役割が果たせなく、このままでは、介護保険料や利用料で、これまで以上に負担がかかり、不安の拡大につながると危惧します。介護支援センターの体制について、見直しをしないか伺います。

福祉の拠点 つわぶき荘(泊)

生きる力を養う　学校教育を

質問　学校と地域の連携を強化しなければ、学校運営が難しい時代になった。

学校においては、学力の低下を理由に、学習指導要領の見直しがされようとしているが、ゆとり教育、総合学習は学力の低下につながったのか。

全ての子どもたちが同じ教育を享有し、学校から差別やいじめをなくすための考えを基本とした学校教育が求められるが、どのように取り組むのか伺います。

答弁（教育長）

羽合地域は学校評議員制度、東郷地域は推進委員と、共に地域の意見を聴きながら学校、家庭、地域での連携を作り上げています。

小学校、中学校で実施した学力調査では、県平均を上まわっており、少人数指導や、複数による指導、或いは児童や生徒の学力に応じた指導などを取り入れており、学力は落ちていません。

学校は、全ての子どもを包み込み、枠組みから外すことなく個に応じた教育を進めていきます。

合併協定項目の見直しを

石井輝美議員

質問　合併の基本原則に反し、住民のサービスは悪い方に、負担は高い方に調整された項目を速やかに是正し、合併してよかったと評価され、信頼される町づくりを推進すべきでないか伺います。

答弁（町長）

合併協議会で、三町村の特色ある施策と住民福祉の観点から、負担は低くサービスは高くと、トータル的に確認し、調整してきました。

今後全般的な見直しをする場合は、財政計画との調整が必要であります。

成人式の不祥事から教訓とすべきことは

質問　成人式直前に、担当職員の不手際から、新成人一名に対する案内通知が未発送であると判明し、本人、家族は言うにいわれぬ思いをされました。

全職員が町民一人ひとりのために、気配り、目配りをして、職務に専念していただきたい、職員相互の連携が必要である。

また、成人式の欠席者にも記念品を贈るべきであるが、考え方を伺います。

答弁（町長）

誠に申し訳ないと反省しています。全職員が注意をして業務をするように指示しました。

記念品は、今後は欠席者にも渡すこととしました。

答弁（教育長）

職員の不注意により、本人、家族に心配をかけ申し訳ありません、今後は、チェックリストにより点検していきます。

合併後の６カ月健診
（アロハホール）

ブロードバンド化事業しか方法がないか

質問　全戸に光ファイバーを張り巡らすブロードバンド化事業は、総事業費二十三億八千万円と計上されているが、さらに音声告知器の買い替えを含めると六十億円となります。積算の根拠と、デジタル化・健康管理システム・双方向の三課題に対応するには、ブロードバンド化の事業しか方法がないか伺います。

答弁（町長）

　積算は概算であり、平成十五年度に実施した広域イントラネット分を差し引き二十三億八千万円となり、各家庭、地区公民館などを光ケーブルで接続します。

　現在泊地域では、双方向により健康管理を実施しており、地域間での格差の無いようにします。

除雪計画の見直しは

質問　除雪計画によると二十センチ以上にならないと除雪を実施されないが、除雪計画路線以外でも除雪の要望があり、今回の除雪経験をふまえ、見直しはしないか伺います。

答弁（町長）

　合併の協議で二十センチとし、区間は旧町村で実施していた区間としました。

　通学路の変更、コミュニティバスのコース、宅地開発などによる区間の変更については、検討していきます。

トウテイラン

絶滅危惧のトウテイランの保護は

質問　泊地域には、日本固有種のトウテイラン自生地が確認されているが、行政サイドの保護が不十分であり、衰退、根絶が懸念されます。保護対策並びに、新たな町おこしとして検討しないか伺います。

答弁（町長）

　八月から九月にかけ青紫の花を咲かし、限られた地域に生息する植物であり、町の文化財保護委員会で、町の天然記念物として取り組みます。

議案審議Q&A

Q　職員手当で管理職特別手当の支給は。

A　防災等特別な業務に従事した際に支給する。

Q　時間外手当は、余剰人員もあり配置転換で業務の確保をすべきである。

A　配置転換で対応できないものもある、十分に考える。

Q　職員互助会への補助金には問題がある。他県で廃止しているところもある。

A　職員の健康管理や交流会に対応、社会問題にならないように支給する。

Q　松崎駅の管理事業、本来ＪＲの持ち物を、シルバー人材センターで管理するか。

A　ＪＲの無人化の経緯があり、町の玄関口として、清掃、乗車券販売をシルバー人材センターに委託している。

Q　温泉保養施設は、大幅な赤字経営をいつまで続けるか、指定管理者制度の導入や民間に委託しないか。

A　健康ランドとして、収益性を持たない方式で開設した。町民の利用対策も実施したが、利用者は向上しない、裸風呂、指定管理者制度の導入も町全体として検討したい。

Q　総合計画の資料は、合併協で作った町づくり計画を土台とし、二重投資とならないように、職員で対応しては。

A　十分に考え、職員と委託を分けて検討したい。

Q　総合計画審議会委員の選考は、充て職でなく意欲のある人で、年齢別、老若男女にでていただいては。

A　我が町はこうあるべきであると言われる人に、多く参加していただくよう公募する。

Q 合併の目標は行政改革であるが、予算では見えてこない、行政検討委員会を、本気で開催するのか。

A 三回の開催を予定している、事務局でもまとめながら開催していく。

Q 指定管理者制度導入の目標は。

A 平成十八年九月までに、出来るもの、出来ないものを検討し、出来るものからやっていく。

Q 松崎駅での乗車券販売で、利用者にダイレクトメールを送付し、定期券販売など積極的な事業展開をされたい。

松崎駅での乗車券発行

A 広報紙で購入を依頼したが、今後は、泊地域の方にも利用していただく輪を広げたい。

Q 職員は自動車通勤で公有地に駐車している、通勤手当の二重払いでないか。

A 全ての町有施設のことであり利用方法を決定してないが、話がつけば早いうちに協議を進める。

Q 町内の観光資源を点から線で結び、町民が納得できる施策を、早急にされたい。

A 戦略を持って、ハワイ祭、水郷祭、泊祭などイベントを支えてきた団体を主に議論をしたい。

Q 予算には、町長の方向性、目標を定められなかったのか。

A 総合計画ができてないので、町づくり計画での方向性と、地域で育てた過去の歴史、文化を基本に策定した。

Q 中央公民館には、常駐の場所が無い四名の主事が勤務しておられる、活動の実態は。

A 事務は中央公民館で、事業はそれぞれ地域の現場で勤務しておられる。

Q 合併してマイナスになったと羽合地域で聞く、職員の研修、専門職員の育成は。

A 合併により兼務のない体制とし、研修も必要である、専門職員として、勤務部署の責任者を決めるべきである。

Q 東郷地域で計画されているおもしろ市の内容は。

A 毎年ふるさと祭を開催してきたが、合併により中断した。住民の自主運営で、観光客も参加いただき実施する。

Q 各地域の伝統文化を結び、活性化につながるイベントの開催は。

A 地産地消を東郷、泊で計画し、JAにも声掛けをして、イベントの内容を検討する。

道の駅はわい春まつり

Q 中部町村会は四町に減り業務量が少なくなる。郡体、中部駅伝などは行革によりスリム化すべきである。

A 関係する町は少なくなるが、競技関係者からは旧町村での出場について要望も出ている。

事務局の件も検討している。

Q 在宅介護支援サービスで、羽合と東郷は委託されているが、委託で違った業務をしているか。

A 社協で十分なものを実施する、平成十八年度に基礎を固め方向性を出したい。

Q 合併協定に違反した項目の改善は。

A 負担は安くサービスは高くを全て実施すると財政はもたない、大きな枠でスケールメリットを出しながらやっていく。

Q 町営住宅の現在戸数と稼働率は。

A 現在百三十二戸で空き家は五戸、稼働率は九十六・二%です。

Q あやめ池スポーツセンターの負担金を、県に支出して二十年になるが、県とは交渉しているか。

A 昭和六十年の国体実施時に、必要経費の三分の一を、関係町で負担することとしたが、負担金について、県に要請している。

Q 景観づくり推進費の内容は。

A 町における景観形成を協議する会の設立を予定しており、委員報酬を計上した。

Q 舎人会館、漁村センターは、地域が管理する施設か。

A 今は町が管理しているが、旧町村の地区公民館などについては、どこが管理するかを検討したい。

グラウンドゴルフ

委員会活動

羽合町会計決算特別委員会

◎三月三日
☆平成十六年度羽合町一般会計ほか十一会計の決算認定について
※審査結果　全会計認定

泊村会計決算特別委員会

◎三月三日、四日
☆平成十六年度泊村一般会計ほか九会計の決算認定について
※審査結果　全会計認定

東郷町会計決算特別委員会

◎三月三日、四日
☆平成十六年度東郷町一般会計ほか十三会計の決算認定について
※審査結果　全会計認定

議会運営委員会

◎二月四日
・第一回臨時会について
・第二回定例会について
・議会委員会条例、会議規則の一部改正について
◎二月十八日
・字名に関する問題について
◎二月二十四日
・第二回定例会について

石脇現地調査（教育産業常任委員会）

総務常任委員会

◎三月十日
・第二回定例会提出議題について
・陳情審査について

民生常任委員会

◎三月十日
・町内保育所現地調査
・第二回定例会提出議題について

教育産業常任委員会

◎一月二十日
・水道事業について
・陳情審査について
◎三月十日
・第二回定例会提出議題について
・陳情審査について
◎三月十四日
・第二回定例会提出議題について

ウラン残土の早期撤去を求める決議

湯梨浜町内方面地区に放置されたウラン残土について、本議会は、平成16年12月16日、町内保管絶対反対の決議を行ったところである。

しかしながら、核燃料サイクル開発機構は、平成16年10月14日の最高裁判所判決に沿った速やかな解決を図ろうとせず、鳥取県の県立自然公園条例に基づく搬入禁止命令取消訴訟や、当該禁止命令を理由とする間接強制決定変更の申立を行うなどいたずらに時間を浪費し、平成17年３月11日、ついに間接強制の時期を迎えるに至ったことは、極めて遺憾である。

ついては、長年に亘る地元住民の不安解消と信頼回復のため、核燃料サイクル開発機構処理施設への搬入を実行し、一刻も早くウラン残土が町外に撤去されるよう決議する。

平成17年3月16日
鳥取県湯梨浜町議会

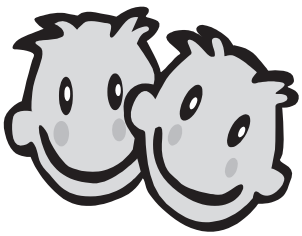
字名に関する議会判断
住民の総意で町に要請を

議会の在任特例期間中に結論を出すこととしていました字名の取扱について、次のとおり決定しました。

○　全町に旧町村名を残す必要はない。
○　大字の変更は関係住民の総意であること、登記上の表記が変わることにより、住民同士、地権者と町において、変更に伴いトラブルが発生しないことを、自治会で取りまとめられ、自治会の総意（議決）として町に要望されたい。
○　地域住民及び関係区域の地権者からの総意で町に要望され、地方自治法の規定により議会に提案された場合は、議会としては住民の要望を厳粛に受け止め粛々と議決する。

陳情審査結果

件　　名	陳情者	付託委員会	審査結果
集会所前の町道から山根幸信さん宅前までの町道の排水改善についての陳情	上橋津区長	教育産業常任委員会	趣旨採択
箕原美容室　右のカーブミラーあたり木の伐採についての陳情			採　択
旧橋津川の水質改善についての陳情			趣旨採択
青谷羽合道路の防音対策についての陳情			趣旨採択
旧橋津川の船の不法係留対策についての陳情			趣旨採択
「市場化テスト」や「給与構造見直し」に反対する意見書の採択を求める陳情	日本国家公務委員労働組合連合会	総務常任委員会	不採択
北溟中学校における「30人学級」の完全導入についての陳情	北溟中学校ＰＴＡ	教育産業常任委員会	採　択
災害復旧費助成についての陳情	仙津果樹生産組合 勝負谷果樹生産組合	教育産業常任委員会	趣旨採択
災害復旧の支援についての陳情	果樹造成園研究協議会	教育産業常任委員会	趣旨採択
県道上浅津田後線の整備についての陳情	長瀬区長 宇野区長 浜区長 新川区長 羽合西小学校ＰＴＡ	教育産業常任委員会	採　択
町道水下西線の歩道整備についての陳情			採　択
町道長瀬中央東線の歩道等の整備についての陳情			採　択
戸崎茂雄宅北側の側溝についての陳情	赤池区長	教育産業常任委員会	採　択
道路整備についての陳情			採　択
田後東部地区町道の狭隘部分の拡幅についての陳情	田後北部区長 田後南部区長 田後東部区長	教育産業常任委員会	採　択
町道3090大俵二の堀線の狭隘区間の拡幅についての陳情			趣旨採択
カーブミラーの設置についての陳情			採　択
「ＪＲ不採用問題の解決に向けた協議の開始を求める意見書」の提出を求める陳情	国鉄労働組合米子地方本部	総務常任委員会	不採択
「農業を守って、食料自給率を向上させる」ための意見書提出に関する陳情	鳥取県農民運動連合会	教育産業常任委員会	採　択



委員会で継続審査とした陳情はどうなるの？

湯梨浜町の議員の任期は、４月29日です。
任期満了により、審議未了となりました。

私の抱負

湯梨浜町議会議員選挙で、当選された議員に抱負を聞きました。
議員の任期は、四月三十日から四年間です。
掲載は五十音順です。

会見祐子議員

住所　長和田五七七

この度新町湯梨浜町の議員に任命され使命感に燃えております。男女共同参画社会の実現を基本にすえ、住民の意見を聞きながら行政に参画します。

笑顔や笑い声が聞こえ、高齢者から子供たちや障害者が安心して一緒に暮らせる町、働くお母さんを支援し、地域ぐるみで子育て支援、地場産業に誇りを持ち、地産地消の促進を目指します

秋田和幸議員

住所　別所一〇七

①新町建設計画の検証・実現の推進　②行政サービスの迅速・効率化の推進　③情報公開の拡充の推進　④IT社会と心の教育の推進　⑤福祉・高齢化施策の拡充の推進　⑥産業振興・道路整備の推進、以上を政策の基本とし、「合併して良かった」と言っていただける町づくりのため、一生懸命努力してまいります。

入江　誠議員

住所　田後八五八

この度の選挙において、湯梨浜町民皆様の負託を得まして二期目のステージに立たせて頂く事になり、光栄に感じますとともに再度責任を痛感しております。

「子どもが接点、地域が原点!!」を念頭におきながら、特に教育改革を中心に取り組み「夢をかたちに」を実現するために皆さんと協働しながら活動していく所存です。宜しくお願い致します。

浦木　靖議員

住所　赤池四二ノ五

将来の地域内のシコリが無いようにするためにも、合併した今の時期こそ偏った行政・町づくりではなく、公平・公正性が求められる時ではないのか。そのために私は、公約のとおり、住民・議会・行政が一体となって、合併してよかったと思える町づくりを目指します。

酒井幸雄議員

住所　泊八四五

地方分権時代の到来と財政難の中で、湯梨浜町は誕生した。町行政と議会は、地方政府としての役割をしっかりと果たさなければならない時代になった。湯梨浜町にある素晴しい資源や、マンパワーを充分に生かすことによって「安心して暮らすことのできる町」になり、町民へ将来展望が示せる町になると確信しています。皆様のご指導、ご鞭撻をお願い致します。

竹中壽健議員

住所　宇野一六八九

新しい町づくりは、みなさんと一緒に作っていくものです、「住民が主人公」と言う事を一時も忘れる事なく、みなさんと町政を結ぶ「架け橋」として、これまで以上にみなさんの声にこたえ、願いの実現に全力で取り組んでまいります。

寺地章行議員

住所　野花五四九

湯梨浜町は合併により個性ある多くの財産を有することになりました。

如何に有効に活用して総合力を高め、地域全体の振興につなげて行くか、定住人口・情報人口・交流人口を増やす努力の中から、新たな発展の芽を育てたいものです。

よい町であるためには、産業の活力と教育と福祉関係の充実が欠かせない。地域バランスも考えながら職責を果たしたく思う。

徳田幸宣議員

住所　田畑二五六ノ一

合併による新町まちづくり計画は、住民生活のすべての分野において、今日的、将来的に行政責任として何をなすべきかの課題が明記されている。

私は、これらの課題や目標が絵に描いたモチにすることなく、より具体化、完全実施に務めて、町民ひとしく合併してよかったと実感できる湯梨浜町を目指します。

浜中武仁議員

住所　泊七七〇

住民ニーズの多様化や厳しい財政状況という背景がある中で、地方自治は非常に厳しいものがありますが、住民の智恵と汗を結集し、自分の住む地域に自信と誇りが持て、「元気で・輝く町・湯梨浜町」を皆さんと一緒になって創って行きたい。

湯梨浜町に住んでよかったと実感していただけるように、力の限り責任を果たして行きたいと考えております。

平岡将光議員

住所　方地五七五

「地方の事は、地方で決める。」地方分権の時代自己責任の時代です。今までの延長線上に未来はないのです。国からの財源は限られ、あとは自らが確保し町民の豊かさのために、有効に賢く使わなければなりません。

私は、努力します。

一、豊かな農漁村の振興

一、子ども達に「こころの教育」の推進

一、医療、福祉、介護の充実と負担軽減

福本幸弘議員

住所　宮内一五八

先人が築かれた歴史と伝統を大切にし、二十一世紀を展望しつつ、「健康で、心豊な町づくり」に向かって、勇気・忍耐力・行動力を活かし、常に町民の立場で地域の活性化を目指し、産業・福祉・教育の振興と充実のため、「初心」にかえって努力してまいります。

前田勝美議員

住所　門田一一七四

私は、新生湯梨浜町議員として、議会活動二十四年の貴重な経験を生かし、魅力溢れる湯梨浜町の発展のために全力を尽くします。

多様化する住民ニーズに対応するため、各分野において山積する諸課題に迅速かつ的確に対応し、住民が、安全で安心して暮らせるまちづくりをめざして、私の選挙公約の実現に努めます。

増井久美議員

住所　田後三〇二ノ六

新町の土台をつくりあげる四年間です。住民の皆さんの声にしっかり耳を傾け、はっきりと行政に届けます。町民の方々との共同・協働を大切にし「住みつづけたい湯梨浜町」となるよう全力を注ぎたいと思います。

○保育所自園給食実現（旧羽合地区）

○介護保険料減免や国保税引き下げをめざす

○地場産業を応援

○IT事業の見直し

松本　繁議員

住所　はわい温泉四ノ四九

早いもので旧羽合町より議席を頂いて、早や二十年の歳月が流れようとしています。合併により新町湯梨浜町が誕生し、二十一世紀にふさわしい町づくりのため、この経験を生かし、山積する町政課題に積極的に取り組みながら、私は既成の体質によって対応しようとする「組織」「権限」「人事」を、新しい時代に適応した体質と気質をもつ体制に改め、町民の望むところにしたがった、ふるさとづくりに努めます。

光井哲治議員

住所　長瀬七二五ノ八

新町がより発展するためひたむきに、愚直に私の考えを訴えていきます。

一、合併による合理化の選択

一、行政区の活動と役割が新町の将来を決定する

一、議会は執行部の下請であってはならない

以上のことを基本に、旧三町村の融和と融合をはかりながら、安心して暮らせる新町の創造をめざして、全力で取り組みます。

村中隆芳議員

住所　長瀬三三三ノ一〇

私は新人議員ですし、未熟者ですので、現場第一主義で、町民皆様お一人お一人のお話を伺いながら勉強させていただき、遊説中に皆さんにお約束した「私の目指すもの」を具体化できるよう大好きな我がふるさと湯梨浜町の発展のために全力を尽くす決意です。

吉田礼治議員

住所　石脇一〇一四

合併後初の町議会議員選挙は、たいへん厳しい選挙となりました。お蔭様で当選の栄に浴し、深く感謝しております。

吉村敏彦議員

住所　田畑二八ノ一〇

私は農業、漁業、観光産業の活性化や若者が子どもを生み、育てやすい環境の整備と高齢者が安心して老いることのできる施設の推進に取り組む所存であります。町民の皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

地方分権の時代を迎え、地方自治体の自立が強く求められる中、議会がしっかりとその役割を発揮し、これまでのように「均衡ある町づくり」ではなく「個性ある町づくり」へと変えていかなければなりません。

そのためにも、大胆な改革と、選挙公約実現に向け、公平、透明、効率のよい町づくりを目指し、湯梨浜町発展のため、全力を尽くしてまいります。

果物・野菜大国

湯梨浜町は、果物・野菜の栽培が盛んである。

ハウスの中で、真っ赤に熟し甘酸っぱいイチゴが終盤を迎えると、メロン、スイカの植え付け、二十世紀梨の交配作業、ブドウの準備と町のブランド作りに、活気が溢れています。

合併により、町を紹介する特産が増えたことは有難いことであり、また、地産地消につながればと期待を寄せています。

▶クレオパトラメロン

◀いちごの高設栽培

議会の傍聴をお気軽に

皆さんが選んだ議員が、どのような活動をしているか、また、身近な問題がどのように処理されているか関心がありませんか。

議会の日程等は、議会事務局にお問い合わせください。

☎３５－５３４１

《あなたの声をお待ちしています》

議会及び議会事務局に関するご意見をお聞かせください。

お知らせ

議会を羽合庁舎三階で開催します。

合併後の議会を、中央公民館羽合分館で開催してきましたが、五月から羽合庁舎三階の議場で開催します。

編集後記

昨年十月に湯梨浜町議会として発足し、七ヶ月間の在任特例期間中、三十六人の議員が、公民館の講堂を議場として、会議用机、パイプ椅子で議論をしてきましたが、三月定例議会で最後の議会となりました。

少しでも町民に身近な議会、開かれた議会にするため、インターネットの会議システムを活用し、羽合庁舎、東郷庁舎、中央公民館で本会議の放送を実施しました。今後は、ケーブルテレビによる議会の同時中継が課題です。